

土木工事施工条件明示 の手引き

令和4年1月

沖縄県 土木建築部

沖縄県では、九州地方整備局の「土木工事施工条件明示の手引き(案)」を参考に、沖縄県土木建築部発注の建設工事(営繕工事は除く。)において、適切な条件明示の徹底をはかり、適正な工期設定を行い、工事の円滑な執行(設計変更等)を行うため「土木工事施工条件明示の手引き(沖縄県 土木建築部)」を作成しました。

ポイントは、「条件明示について」(平成14年3月28日)国官技第369号に準じた設計図書に明示すべき項目・事項について、受発注者の意見等とりまとめ、沖縄県独自の記載例を記載しています。

今後も、受発注者の意見等踏まえ記載例等改定していく予定です。

是非、本手引きを活用願います。

1(1). 手引き策定の背景・目的	1
1(2). 工事工程における協議等の流れ	2～5
【参考】活用方法・活用工夫、適正な工期設定、円滑な設計変更など	
2. 手引きの構成	6
3. 明示項目・明示事項(1)～(4)	7～10
4. 特記仕様書「現場説明における」例(1):1. 工程関係	11～16
特記仕様書「現場説明における」例(2):2. 用地関係	17～18
特記仕様書「現場説明における」例(3):3. 公害関係	19～20
特記仕様書「現場説明における」例(4):4. 安全対策関係	21～22
特記仕様書「現場説明における」例(5):5. 磁気探査関係	23
特記仕様書「現場説明における」例(6):6. 工事用道路関係	24
特記仕様書「現場説明における」例(7):7. 仮設関係	25
特記仕様書「現場説明における」例(8):8. 建設副産物関係	25
特記仕様書「現場説明における」例(9):9. 積算条件	26
特記仕様書「現場説明における」例(10):10. 業務委託費等	27
特記仕様書「現場説明における」例(11):11. 支給品	27
特記仕様書「現場説明における」例(12):12. その他条件	28～29
巻末:【参考】現場説明における条件明示作成段階チェックリスト	

1(1).手引き策定の背景・目的

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」

第7条(発注者の責務) 第7項

設計図書に適切に施工条件を明示するとともに、設計図書に示された施工条件と実際の工事現場の状態が一致しない場合、設計図書に示されていない施工条件について予期することができない特別な状態が生じた場合その他の場合において必要があると認められるときは、適切に設計図書の変更及びこれに伴い必要となる請負代金の額又は工期の変更を行うこと。

- 「施工条件の明示」は発注者の責務であるが、工事によっては明示する条件の不足や不明瞭さにより、適正工期が確保できない、工事の円滑な執行(設計変更等)が図られないケースが見受けられる。

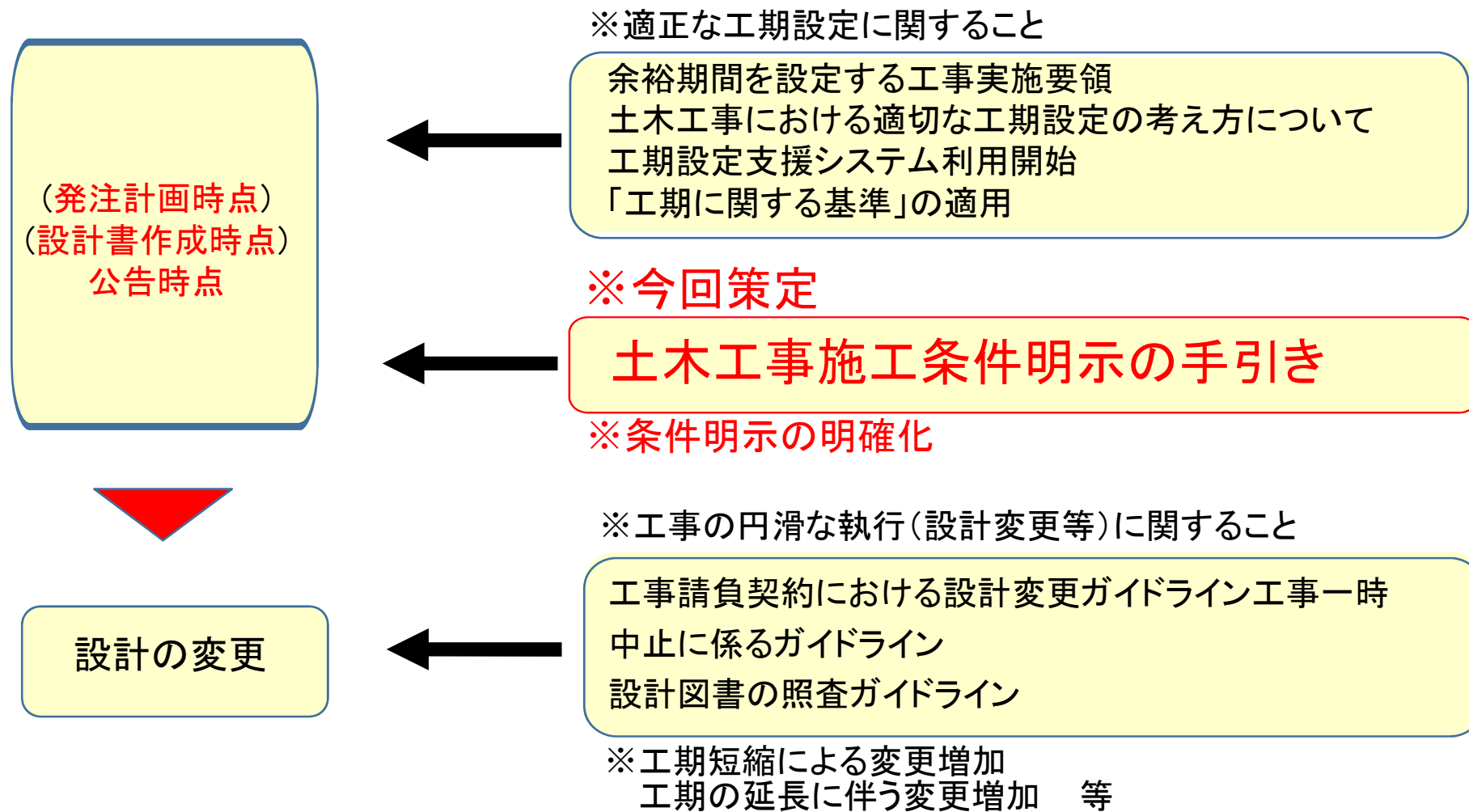
業界団体からの意見の例

- 事業行為通知書に係る手続きが必要なのに、明記されていない。
- 磁気探査等による施工できない期間が明記されていない。
- 支障物件の移設等に関して明記されている時期に完了しない。
- 道路工事で、8時間の作業時間が確保できないのに明記されていない。 等

【目的】

「土木工事施工条件明示の手引き」を策定・活用し、適切な条件明示の徹底をはかり、適正な工期設定を行い、工事の円滑な執行(設計変更等)を行う。

1(2). 工事工程における協議等の流れ



※特に、公告時点の条件明示を徹底し、契約時点の前提条件を明確化することにより、適正な工期設定を行い、また、設計変更の円滑化を図る。

1(2). 工事工程における協議等の流れ

【参考】「土木工事施工条件明示の手引き」の活用方法・活用工夫

活用方法・活用工夫

発注者

1. 発注時の設計図書に明示する条件等の確認資料として活用できます。
例えば・・・条件明示に関連する積算計上漏れがないか。
2. 積算や設計図書作成に先立ち、予め施工現場の条件、環境、制約等を調査・確認する際の手引きとして活用できます。
例えば・・・夜間作業等で施工時間の補正したか確認。
3. 積算担当者の現場確認も含め、事前調査・関係部署確認の効率化が図れます。
例えば・・・鳥獣保護の申請は〇〇で、事前確認した結果、伐採範囲が限定されることがわかった。
4. **適正な工期設定になっているか**確認資料として活用。
例えば・・・**工期設定が適切か**。(週休2日の確保)
5. 施工経験の多少に関わらず、統一的な条件明示が図れます。
6. 具体的特記仕様書の作成にあたっては、別途、特記仕様書記載例の中から、必要な項目の選択の一助となります。

受注者(見積者)

1. 契約締結後の、契約書第18条「条件変更等」の確認資料として活用できます。
2. 施工途中において施工条件の変更や新たな課題が生じた場合における**円滑な設計変更**に活用できます。
例えば・・・受注者の責によらない事由が明確になります。
3. 現場説明時の「質問事項」の検討資料として活用できます。
例えば・・・**赤土対策の記載がない場合、該当有無を質疑。その他、本手引きで記載すべき事項が漏れていないか、受発注者でチェックできます。**
4. 現場条件の確認時の手引きとして位置付けることにより、現場調査・測量時のチェックリストや整理フォーマット(様式)として活用できます。
5. 施工経験の少ない場合には、参考資料として活用できます。

発注者による活用時期の工夫！！

本手引きによるチェックを、工事設計書作成時点ではなく、工事の『**発注計画時点(予算要望時点)**』で行うことで

- 円滑な工事発注が可能！(計画的な工事発注が可能)
- 適正な工期設定！**
- 設計変更の削減！**
- 工事一時中止の削減！**

にも寄与する。

1(2). 工事工程における協議等の流れ

【参考】「土木工事施工条件明示の手引き」で適正な工期設定など

「現場説明における条件明示」を作成することで
適切な工期設定が行える

適切な「現場説明における条件明示」

適切な
・工事工程表の作成
・**適正な工期設定**

発注者 → 適正工期の設定（「工期に関する基準」の遵守）

受注者 → 週休2日の確保（改正労働基準法の確実な遵守）

適切な「現場説明における条件明示」

施工条件等
工程表、工期設定に反映

	工事名：〇〇改良工事	令和■年												令和〇年	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	余裕期間	■	■												
2	準備期間			■	■										
3	例：手続き等で着手できない期間				■	■									
4	例：磁気探査で着手できない期間								■			■		■	
5	例：占用工事で着手できない期間											■			
6	例：工場製作期間					照査	協議	製作期間							
7	例：波浪による余裕工期														
8	土工														
9	排水工1														

1(2). 工事工程における協議等の流れ

【参考】「土木工事施工条件明示の手引き」で円滑な設計変更など

「現場説明における条件明示」を適切に作成することで
「設計変更手続き」、「工事一時中止手続き」が円滑に行える

適切な「現場説明における条件明示」

+

適切な工期設定

「土木工事における適切な工期設定の考え方」
「工期設定支援システムVer2.0の活用」

【条件明示】前提条件について

○条件明示と異なる事象

- 例えば・・・地元より振動対策要望が新たに発生。
・事業行為通知書が不用と明記されたが実際は必要。
・受注者に起因しない占用工事工程の遅れ。
・条件明示期間以上の、異常気象による工程の遅れ。

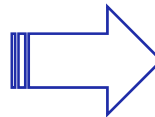
○実際と一致しない

- 例えば・・・土質条件が現場と設計で一致しない。

○想定外の条件発生

- 例えば・・・掘削にあたり予想以上の湧き水。

受注者に起因しない
ことが明確

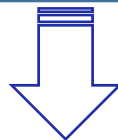


設計変更
が必要！

「工事請負契約における設計変更ガイドライン」

1. **設計変更が可能なケース**を受発注者で確認！
例えば・・・着手後に振動抑制対策で敷鉄板が必要になった。
新たに赤土流出防止対策が必要になった。
2. 設計変更が**不可能なケース**を受発注者で確認！
例えば・・・発注者から協議回答のない時点で施工実施した場合。
受注者の都合による施工方法の変更。
3. 設計変更の手続きフローを受発注者で確認！
4. 設計変更事例で**該当チェック**！

工事一時中止
が必要！



「工事一時中止に係るガイドライン」

1. 「一時中止に係る基本フロー」により、**手続きの流れ**を受発注者で確認！
2. **工事中止すべき場合**を受発注者で確認！
例えば・・・**施工条件(条件明示)との相違で施工を続けることが不可能な場合(工事請負約款第18条)等**。
3. 基本計画書に記載する内容を**受発注者**で確認！
※特に**工期延長に伴う増加費用**が発生するか明記。
4. 工期延長に伴う**増加費用範囲**を受発注者で確認！
※特に**発注者に起因する工期短縮が必要な場合注意**！

変更協議を
円滑に！



設計変更の
資料は誰が作成か？



「設計図書の照査ガイドライン」

1. **受注者**が行う「**設計図書の照査**」の**範囲**を受発注者で確認！
例えば・・・
○縦断計画の見直しを伴う横断図の再作成は**発注者負担**
○**新たな赤土流出防止対策施設の設計図等**は**発注者負担**
(もしくは**設計コンサルタントへ不適合成果として損害賠償請求**)
※**設計変更に必要な資料の作成責任を明確**に行うこと！！

2. 手引きの構成

○以下を参考に条件明示を行うこととする。

◆明示項目及び明示事項

「条件明示について」(平成14年3月28日)国官技第369号

※設計図書に明示すべき項目・事項についてまとめている。

◆特記仕様書「現場説明における条件明示」の例

条件明示を行う場合の記載すべき事項、記載例をまとめているので、これを活用し条件明示事項を確認する。

本手引きの3. 及び4. はあくまで「例」である。最低限必要な事項であり、すべてを網羅したものではない。

土木工事は多種多様な条件下で施工するため、各々の工事特性に応じた条件を適宜追加して明記すること。

難しく考えずに、

- 自分自身が施工する立場になった場合、施工計画を立てる時に知っておきたいことは何か？
- 施工者に伝えておきたいことは何か？
- 公告段階で完了していないことがあれば、それは何で、いつまでに完了する予定なのか？

という観点で条件明示をすればよい。

3. 明示項目・明示事項(1)

明示項目	明示事項
<p>工程関係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 2. 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 3. 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 4. 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。 5. 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 6. 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。 7. 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。
<p>用地関係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工事用地等に未処理部分がある場合は、その場所、範囲及び処理の見込み時期。 2. 工事用地等の使用終了後における復旧内容。 3. 工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。 4. 施工者に、消波ブロック、桁製作等の仮設ヤードとして官有地等及び発注者が借り上げた土地を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。

3. 明示項目・明示事項(2)

明示項目	明示事項
公害関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 2. 水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。 3. 濁水、湧水等の処理で特別の対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。 4. 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。
安全対策関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。 2. 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。 3. 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。 4. 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。 5. 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。
工所用道路関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 2. 水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。 3. 濁水、湧水等の処理で特別の対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。 4. 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。

3. 明示項目・明示事項(3)

明示項目	明示事項
仮設備関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 2. 仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法。 3. 仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。
建設副産物関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。 3. 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。
工事支障物件等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地上、地下等の占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等。 2. 地上、地下等の占用物件工事と重複して施工する場合は、その工事内容及び期間等。
薬液注入関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬液注入を行う場合は、設計条件、工法区分、材料種類、施工範囲、削孔数量、削孔延長及び注入量、注入圧等。 2. 周辺環境への調査が必要な場合は、その内容。

3. 明示項目・明示事項(4)

明示項目	明示事項
その他	<ol style="list-style-type: none">1. 工事中資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。2. 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。3. 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等。4. 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等その内容。5. 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件。6. 工事中電力等を指定する場合は、その内容。7. 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容。8. 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用時期。9. 給水の必要のある場合は、取水箇所・方法等。

4. 特記仕様書「現場説明におけるによる条件明示」の例(1)

1. 工程関係

○参考

中央建設業審議会決定、令和2年7月20日「工期に関する基準」(以降、「工期に関する基準」という。)において、工期に関する要因については、特記仕様書等へ記載することとなっております。

【工期に関する基準～工期全般にわたって考慮すべき事項より】

1. 「沖縄県」土木工事の「特記仕様書」で記載すべき事項(ひな形記載事項)

- 準備・後片付け期間
- 雨休率
- 施工不可期間(年末年始・夏季休暇・地元催事)

2. 「沖縄県」土木工事の「現場説明におけるによる条件明示」で記載する事項

- 自然要因:波浪の影響
- イベント:ゴールデンウィーク期間
- 制約条件:①鉄道、国道の近接施工協議に要する期間
②国道工事への着手関係手続き期間
③周辺への地盤、騒音、粉塵、工事車両の規制などを考慮した余裕期間
- 関係者との協議:占有者との協議、同時施工による影響
 - ①余裕期間(施工できない期間)
 - ②占有工事の工期
- 行政への申請:①交通管理者との協議状況(条件)
②道路使用許可に要する期間

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(1)

1. 工程関係

【工期に関する事で記載すべき事例】

本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。

「土壌汚染対策法の手続き」
「事業行為通知書」「近接施工協議」
「関係機関(交通管理者、環境省関連、埋蔵文化財関連、市町村、漁業組合等)へ届出等」
等の手続きにより、▲▲日間施工できない(手続きに要する)期間について記載。

「占用物件移設」の手続き及び作業により、電柱移設、マンホール(MH)移設等で、▲▲日間施工できない(手続きに要する)期間について記載。
また、各占用工事の管理者(株○○電力、株■通信等)も記載。

地域イベントなどで施工できない期間を記載。
地域の条件、要件で対策を講じるべき内容、施工できない時間帯などを記載。

磁気探査業務による施工できない期間(磁気探査の準備工、探査、解析 等に要する期間等)について記載。
また、不発弾等が発見された場合の方法(工期変更等)も記載。

【その他事例】

- ・環境条件による施工できない期間等。(例:浚渫工事等の施工できない期間、時間帯等)
- ・工場製作品(例:コンクリート二次製品、鋼製品等)の受発注者協議期間、製作に要する期間等。
- ・波浪等の影響により工事ができない場合の対応等。

4. 特記仕様書「現場説明におけるによる条件明示」の例(1)

1. 工程関係

【記載例】 県内工事の事例

【道路改良工事】

- ・本工事では、関連工事として下記占用物件移設工事があり、密な工程調整をお願い致します。
なお、本工事の工程については、各占用工事の工程を考慮して設定しておりますが、現場条件等により、変更が生じた場合は、別途協議とします。
- ①NO, ■～NO, ▲(左側)電柱移設■本(管理者 株○電力):工事期間RO年■月～RO年▲月予定
- ②NO, ■～NO, ▲(右側)電柱移設■本(管理者 株○通信):工事期間RO年■月～RO年▲月予定
- ③NO, ■～NO, ▲(左側)MH移設■本(管理者 市水道局):工事期間RO年■月～RO年▲月予定

【道路改良工事】

- ・本工事では、2次製品の■■ボックスを製作する計画で、下記①～③を工期で考慮しております。
 - ①受注者による照査に要する期間:〇〇日間
 - ②受発注者協議に要する期間:〇〇日間
 - ③■■ボックス製作に要する期間:〇〇日間
- 現場条件等により、変更が生じた場合は、別途協議とします。

【橋梁工事】

- ・本工事では、橋梁上部工製作・架設する計画で、下記①～⑦を工期で考慮しております。
- ①受注者による照査に要する期間:〇〇日間
- ②受発注者協議に要する期間:〇〇日間
- ③受注者による機材準備に要する期間:〇〇日間
- ④製作に要する期間:〇〇日間
- ⑤運搬等に要する期間:〇〇日間
- ⑥施工ヤードの引渡し時期、上部工着手可能時期
- ⑦配置予定技術者の専任を要する期間。

4. 特記仕様書「現場説明におけるによる条件明示」の例(1)

1. 工程関係

【記載例】 県内工事の事例

【道路工事】

・民地への乗入調整は、事前に行っているが、施工計画段階で、再度、隣接権利者と協議行うため〇日間協議日程を考慮しています。

【河川工事】

・本工事では、事業行為通知書の申請手続きで〇〇日間を考慮しております。
発注者において、〇保健所と事前協議は行っておりますが、実施の施工計画書等と整合をはかるため、発注者で作成しました資料を確認し、加筆等願います。
なお、降雨により工事ができない期間については、雨休率〇〇で工期設定し考慮しております。

【磁気探査関連】

・本工事に関連して磁気探査業務(鉛直探査)があり、■年〇月より着手済みです。
また、磁気探査業務による施工できない期間(磁気探査の準備工、探査、解析等に要する期間等)は、▲▲日間あり、工期設定に反映しています。
なお、不発弾等確認された場合の工程は考慮していないため、別途協議とします。

【海岸工事】

・本工事では、波浪等による工事ができない期間を、過年度工事より■日間考慮しております。
なお、長期的な異常気象、現場条件等により、変更が生じた場合は、別途協議とします。

【港湾工事】

・本工事では、波浪等による工事ができない期間を、過年度工事より■日間考慮しております。
また、本工事に関連する〇〇漁業組合へは、本工事が週休2日を実施すべき工事であることを説明しており、特殊な事由がない限り、週休2日を実施することとします。
なお、■養殖で施工できない期間は、〇年■月～R〇年▲月です。

4. 特記仕様書「現場説明におけるによる条件明示」の例(1)

1. 工程関係

【記載例】 国手引き引用事例

○ゴールデンウィーク○年○月○日(○)○○時～○年○月○日(○)○○時
○お盆○年○月○日(○)○○時～○年○月○日(○)○○時
○年末年始○年○月○日(○)○○時～○年○月○日(○)○○時
○年度末○年○月○日(○)○○時～○年○月○日(○)○○時
○その他、渋滞が予想される祭りやイベント等○年○月○日(○)○○時～○年○月○日(○)○○時

- ・本工事の○○○の作業については、夜間作業で計画しており、準備後片付けを含めて○○:○○～○:○○までで考えている。現場条件等によりこれによりがたい場合は、別途協議する。
- ・トンネル掘削作業は、1日当りの労働時間を8時間、2方(2交替)・週5日施工を標準とし、休日等(土・日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇)の作業不能日数を見込んでいる。
- ・本工事の主要な工種の施工時間帯は以下のとおりとし、その他の工種は通常の施工時間帯で予定している。
なお、施工時間帯を変更する場合は監督職員と協議するものとするが、受注者の都合による場合は契約変更の対象としない。
- ・本工事の○○○の区間については、後工事を予定しているため、○年○月○日までに引き渡しをするものとする。

沖縄県土木建築部 工期に関する取り組み事例

<工事開始前の事前調整>

- ▶ 工事概要: 交差点改良工事
- ▶ 協議相手: 通信・電気(支障占用物—電柱及び架空線)
ガス・上下水道(支障占用物—道路埋設物)
- ▶ 協議開始: **工事発注の6ヶ月前**から協議開始
- ▶ 協議方法: 会議形式及び現地立会い形式
会議形式については、会議での課題・解決を報告するため、多い時期は、月1回程度で実施。

主な協議内容

- ▶ 支障占用物について**移設先の協議**。
移設先については、民地を含め協議するため、約**4ヶ月**程度時間を要する。
特に、電柱等の場合、民地の乗入箇所との協議も必要である。
- ▶ 支障占用物の**仮移設**について**補償金等の協議**。
交差点等で段階施工を行うため、占用物の仮移設が発生する。
このため、仮移設の補償金について協議を行うが、約**3ヶ月**程度時間を要する。
- ▶ 支障占用物の**移設方法及び工程協議**。
道路工事と並行して、占用物の移設工事を行うため、移設方法、及び施工時期を重複しない工程協議が必要であり、約**6ヶ月**程度時間を要する。
- ▶ 事前の**試掘作業**。
支障占用物の移設先について、埋設物等が多く配置された箇所について、各占用物の管理者等で試掘を行い、占用工事支障有無を確認してもらう。
※上記協議を並行して行う。

協議の結果

- ▶ 道路工事の着手と同時に、支障占用物の移設工事が着手可能となり、協議等による工程の遅れが大幅に削減できた。
- ▶ 道路工事、支障占用物の移設工事の工程が明確なため、**施工手順による工程の遅れが大幅に削減できた。**
- ▶ 試掘作業により、発注前に支障占用物の移設先での課題が分かっているため、**現場条件明示に課題等記載でき、工事着手後、速やかに課題解決へ着手可能となった。**

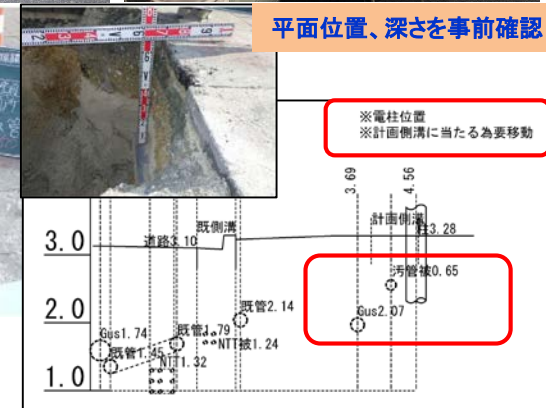
現地立会い【移設位置】



毎月の占有者会議



試掘状況



4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(2)

2. 用地関係

【用地補償等に関する事で記載すべき事例】

本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。

- ・工事用地等に未処理部分がある場合、処理方法等(取り壊し、処分費用等)を記載。
- ・用地制約として保安林(県営、国営)解除に係る期間、条件等を記載。
- ・筆界未定地の有無を記載。
- ・既設上下水道施設の移設、取り壊し等の制約条件等を記載。
- ・みぞかき補償工事の内容、条件等を記載。
- ・民地への摺付け条件等を記載。
- ・工事中の隣接民地への車両乗入れ条件等を記載。

【記載例】 国手引き引用事例

- ・本工事における〇〇の製作にあたっては、仮設ヤードとして下記を考えているが、諸条件によりこれにより難しい場合は、別途協議する。
 - (1)場所：〇〇市〇〇町〇〇地先
 - (2)期間：令和〇年〇月〇日
 - (3)復旧条件：原形復旧を行うものとする
- ・工事区域の用地取得については、すべて完了している。
- ・本工事区間のうち参考図に示す一部の用地については、現在移転中であるが、〇年〇月〇日までに移転完了し、工事着手可能となる予定である。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(2)

2. 用地関係

【記載例】 国手引き引用事例

- ・本工事区間のうち参考図に示す一部の用地については、○年○月○日頃までに協議完了し、工事着手可能となる予定である。
- ・本工事区間のうち測点.○○からNo.測点の間は、農作物の収穫が終わる○年○月○旬まで着工してはならない。
- ・本工事区間内のNo.○○からNo.○○の間については、現在○○森林管理署に使用許可を申請中であり、○年○月○旬から使用できる予定である。
- ・本工事の施工に必要となる参考図に示す用地については、発注者側で借地する予定であり、使用可能時期は、○年○月○日以降を予定している。
- ・参考図に示す作業ヤードの借地は完了しており本工事完了まで借地する予定である。その他の借地は予定していない。
- ・工事施工において民地借上を必要とする場合の協議及び補償等は、特に指示しない限り、一切の行為は受注者の責任において処理しなければならない。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(3)

3. 公害関係

○参考

- ・公害防止の為の行為制限について、県環境保全課HPで規制地域(騒音等)確認。
- ・事業行為通知書(赤土等流出防止条例)、土壤汚染対策法について、県の各所管保健所で施工方法等(土地の改変方法など)説明し該当有無を確認。
- ・環境省関連【鳥獣保護区内作業届】の届出について、環境省関連機関へ施工方法等(土地の改変方法、自然木の伐採等)説明し該当有無を確認。(文化財保護法、森林法等も関連します。)
- ・圧気作業による現場周辺地下室調査について、工事毎の実態調査を検討。
- ・廃棄物(鉛等)の取り扱いについて、各市・県保健所へ届出内容を確認。

【公害に関する事で記載すべき事例】

本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。

- ・工事に伴う公害防止(騒音・振動・粉塵・排出ガス等)についての制約条件、注意事項等記載。
 - ・工事に伴う公害防止(騒音・振動・粉塵・排出ガス等)の事業損失防止費に係る内容を記載。
 - ・各法令、条例にもとづく制約条件について記載。
 - ・現場周辺で発生した過去の公害(家屋への損傷等)について記載。
その上で、重機等による振動対策を記載する。
 - ・特定の工種について、施工方法、機械施設、施工時間を指定する場合は、その内容を記載。
 - ・騒音、振動等の測定を指定する場合は、その内容等を記載。
- ※過去の公害内容を受注者へ伝達することで、再発防止を行う。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(3)

3. 公害関係

【記載例】 県内工事の事例

- ・本工事は、鳥獣保護区内作業届において、自然木の伐採範囲が別紙以外規制されています。
また、施工中〇回／月 程度、野鳥の飛来状況について、写真添付で監督員へ報告願います。
- ・本工事周辺では、重機等の振動影響で家屋への損傷が確認された事例があるため、事業損失防止として、着手前、後の家屋調査として〇〇円(■件)計上しています。
なお、使用する重機についての現場での振動調査等が必要な場合は、別途協議願います。
- ・本工事は、赤土流出防止対策として、〇〇を計画しております。
実施に際しては、赤土流出防止等条例を遵守し、定期的な点検、異常気象時の点検等願います。
- ・本工事周辺は、騒音、振動に関する特別地域指定があり、〇〇市への届出が必要です。

【記載例】 国手引き引用事例

- ・工事に伴う公害防止(騒音・振動・粉塵・排出ガス等)については、特段考慮していない。
- ・事業損失に係わる事前調査は、〇年〇月〇日までに完了する予定である。
- ・仮締切りの鋼矢板の施工については、油圧式可変超高周波型バイブロハンマによる打込み、電動式バイブロハンマによる引抜きを見込んでいます。なお、現地の状況(土質、地質、周辺環境等)により、これによりがたい場合は、別途監督職員と協議するものとする。
- ・本工事における〇〇工については、〇〇による水替えを〇〇日間(常時・作業時)を考えているが、これにより難しい場合は、別途協議する。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(4)

4. 安全対策関係

○参考

- ・有毒ガス、酸素欠乏症、廃棄物(鉛等)取り扱い作業、高所作業については、労働基準署等へ届出内容を確認。

【安全対策に関する事で記載すべき事例】

本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。

【沖縄県 土木建築部では、下記事項は必ず記載することとなっております。】

- ・本工事において、不発弾等が発見された場合は、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督職員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び土木建築部技術・建設業課に報告すること。
また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊の指示等があるまでは、触れずにそのままでの状態で保存すること。
上記については、下請業者へも周知すること。

【記載例】 県内工事の事例

- ・歩行者の転落防止対策として、工事数量に〇〇を計上しており、隙間無く設置すること。
また、その他第三者進入防止が必要な場所については、受注者の負担でバリケード等設置すること。
- ・現場内には、埋設物として、電気・通信管路、上下水道管路があり、掘削作業には十分注意すること。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(4)

4. 安全対策関係

【記載例】 国手引き引用事例

- ・本工事における交通誘導警備員は、〇〇〇〇に〇名(参考図のとおり)配置を考えており、工事数量等の変更がなければ、設計変更の対象としない。
ただし、地元、警察等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。
交通誘導警備員Aとは、「警備員等の検定等に関する規則第1条第4号」に規定する1級又は2級検定合格警備員
交通誘導警備員Bとは、以下のア)又はイ)の条件を満たす者
ア)交通誘導警備員A以外の1級又は2級検定合格警備員
イ)監督職員が警備員名簿及び教育実施状況等に関する資料等により交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員と認めた者
- ・本工事施工のために使用する〇〇仮道中間点付近の学童用通路横断箇所には、朝の通学時間帯1時間は交通誘導員を配置するものとする。
- ・本工事においては、警察等との事前協議の結果、交通安全施設として〇〇〇を考えている。
- ・公共・公益施設(鉄道、ガス、電気、電話、水道等)等からの施工上の制約はない。
ただし、現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。

4. 特記仕様書「現場説明におけるによる条件明示」の例(5)

5. 磁気探査関係【沖縄県独自】

○参考

- ・磁気探査の実施については、「埋没不発弾等の磁気探査実施要領」等に基づき次の調査を行い、その結果、不発弾等が埋没している可能性を否定できない地域(箇所)においては、磁気探査を行うものとする。

調査は、沖縄不発弾等事前調査データベースシステム(管理者:沖縄総合事務局開発建設部建設行政課)を利用し、下記項目について確認作業を行うものとする。システムで確認できない情報については、地域住民や関係市町村等への聞き取り調査等を実施し、補足するものとする。

- (ア) 不発弾等の発見状況、磁気探査の実施状況、及び不発弾等の投棄の有無状況
- (イ) 戦時中の交戦状況
- (ウ) 戦後の地形変化及び改変状況
- (エ) 既存資料に基づく地形、地質状況

【磁気探査に関する事で記載すべき事例】

- ・事前に磁気探査を行っている場合は、実施状況、探査範囲、探査完了日、探査実施業務名、磁気異常点の有無及び確認探査の実施について記載すること。「工事における磁気探査実施状況の「現場説明における条件明示」について(平成30年2月28日付け土技第1226号)参照

【記載例】 県内工事の事例

- ・本工事では、磁気探査業務として水平探査業務を計上しており、別途公表資料を確認すること。
- ・本工事では、別途磁気探査業務を契約しており、○年■月から着工済み。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(6)

6. 工事用道路関係

【記載例】 国手引き引用事例

本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。

- ・本工事の進入路については、〇〇〇〇からの進入で考えているが、現在、〇〇〇〇〇〇工事が施工中であり、完成予定は〇年〇月〇日頃を予定している。
- ・〇〇(地元、警察等)との協議の結果、土砂の運搬ルートについては、県道(市道)〇〇〇〇〇〇(もしくは参考図に示すルート)とし、それ以外のルートの通行は不可である。
- ・〇道〇〇号線は、〇〇市と協議の結果〇t以上の工事車両の通行はしてはならない。
- ・〇〇道〇〇線の〇〇地区は、日曜・祭日の工事作業車の運行は行わないものとする。
- ・本工事施工に伴う工事用車両進入路のうち、別添図面に示す区間については、粉塵防止のために〇回/日程度の散水を行うとともに路面維持に努めるものとする。
- ・本工事で使用する在来の仮設橋梁(〇〇橋)の設計条件は「〇活荷重」であるため、設計条件以上の工事用車両等は通行してはならない。
- ・資機材等の搬入路については、既設の道路を使用することで考えており、特に道路管理者(地元住民等)等からの制限は受けていない。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(7)(8)

7. 仮設備関係 (本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。)

【記載例】 県内工事の事例

- ・本工事では、仮設備としてガードレール(コンクリート基礎付)を支給し、交通誘導施設として設置する計画です。運搬・設置・撤去等は、工事数量に計上しております。
尚、仮設備の保管ヤードは、〇市〇(△ヤード)で、積込みは、〇t積みトラッククレーン、運搬距離〇〇kmで計画しております。
- ・本工事は過去の事例から、台風時の対応として足場板・防護板の撤去・再設置を〇回計上しています。その他、軽微な撤去・再設置については、協議にて決定します。

【記載例】 国手引き引用事例

- ・本工事で設置した仮設物については、工事目的物が完成した段階で撤去するものとする。
- ・本工事で設置した足場は、引き続き発注される〇〇床版工事(平成〇年〇月発注予定)及び塗装工事(平成〇年〇月発注予定)に使用する予定であるので、工事完了後も存置するものとする。
- ・本工事(床版工事)は、〇〇架設工事において設置した足場を使用するが、引き続き発注される〇〇塗装工事(平成〇年〇月発注予定)にも使用する予定であるので、工事完了後も存置するものとする。
- ・本工事施工のために設置する〇〇(例えば、仮橋等)は工事終了後も存置するものとする。

8. 建設副産物関係 (本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。)

【記載例】 県内工事の事例

・建設発生土については、運搬距離〇〇km、搬出先の均し作業まで本工事で行う計画です。

・AS、CO殻については、運搬距離〇〇km、AS殻の処分費〇円/tで計画しております。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(9)

9. 積算条件【沖縄県独自】

【記載例】 県内工事の事例

【土木工事(土木工事標準積算基準書適用工事)の場合】

工種区分は、積算基準書に基づき、共通仮設費率及び現場管理費率を算出するために設定した工種区分を記載する。(例:河川工事、道路改良工事等)

施工地域区分は、積算基準書に基づき、共通仮設費率及び現場管理費率を補正するために設定した施工地域区分を記載する。(例:市街地(DID補正)(1)、一般交通影響有り(1)等)

- 1 本工事の工種区分は、●●工事として間接費(共通仮設費、現場管理費)を計上している。
- 2 本工事の間接費(共通仮設費率、現場管理費率)は、施行地域区分を●●として補正している。
- 3 現場環境改善費は計上している。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(10)(11)

10. 業務委託費等【沖縄県独自】

【記載例】 県内工事の事例

・本工事に含まれる●●業務は、土木工事標準積算基準書の共通仮設費●●費(積上げ分)の費用である。ただし、その積算方法は、間接工事費等の対象とはせず、●年度版設計業務等標準積算基準書により諸経費を含んだ費用を計上し、業務価格を工事価格に合算して積算している。

11. 支給品【沖縄県独自】

【記載例】 県内工事の事例

・支給材があり、●●工種に使用すること。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(12)

12. その他(本手引き「3.明示項目・明示事項(1)~(4)」以外に以下が考えられる。)

【適用基準書】 県内工事の事例

- 沖縄県土木工事標準積算基準書(●年度版)
- 実施設計単価表(●年●月1日版)
- 建設機械等損料表(●年度版)
- 建設機械等損料表(運用版)【沖縄県土木建築部】(●年度版)

【その他条件】 県内工事の事例

- ・ 本現場は台風の影響を受けやすい環境であり、災害防止のため請負契約約款にもとづく「臨機の措置」を行うと予想される場合は、事前に対応方法等を受発注者で協議を行うこと。
特に、工期に影響があるもの、受注者の責任の範囲を超えるもの(発注者の費用負担を伴うもの等)等は、事前に協議を行うこと。ただし、発注者の意見をきく余裕がないほど切迫したもの等緊急やむを得ない事情があるときは、「臨機の措置」対応後、速やかに受注者より協議を行うこと。

4. 特記仕様書「現場説明における条件明示」の例(12)

12. その他(本手引き「3.明示項目・明示事項(1)～(4)」以外に以下が考えられる。)

【工事支障物件】国手引き引用事例

- ・本工事区域の一部について、地下埋設物調査(または埋蔵文化財発掘調査)の必要があるので、(または調査中であり)〇〇〇の〇〇〇工については調査終了後に施工するものとする。なお、施工が可能な時期は〇年〇月〇日頃の予定である。
- ・本工事区間のうちNo.〇〇からNo.〇〇の間については、地下埋設物として〇〇〇(電気・電話・ガス・水道等)があり、移設が完了し施工が可能となる時期は、〇年〇月〇日頃の予定である。
- ・本工事区間のうちNo.〇〇からNo.〇〇の間については、電柱(NTT、電力、〇〇)があり、移設が完了し施工が可能となる時期は〇年〇月〇日頃の予定である。
- ・本工事区間において、現在〇〇が〇〇の占有物件埋設工事を〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日まで行う予定であるので、工事施工にあたっては〇〇と十分工程の調整を行い、慎重に施工するものとする。
- ・工事区域の占有等の支障物件については、地上、地下すべて移転を完了している。
- ・地下埋設物件等の事故防止対策については、別添「地下埋設物件等の事故防止に関する特記仕様書」によるものとする。

【参考】現場説明における条件明示作成段階チェックリスト

	現場説明における条件明示チェック項目	設計担当/コメント		精査担当/コメント		記載内容への意見等【班長】		
		該当		該当		該当		
		無	有	無	有	無	有	
1	工程関係	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		「土壌汚染対策法の手続き」「事業行為通知書」「関係機関（交通管理者、環境省関連、埋蔵文化財関連、市町村、漁業組合等）へ届出等」等の手続きにより、施工できない（手続きに要する）期間等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		「占有物件移設」の手続き及び作業により、施工できない（手続きに要する）期間等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		磁気探査業務による施工できない期間等。（磁気探査の準備工、探査、解析等に要する期間等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		環境条件による施工できない期間等。（例：浚渫工事等の施工できない期間、時間帯等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	用地関係	工場製作品（例：コンクリート二次製品、鋼製品等）の製作に要する期間等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		波浪等の影響により工事ができない場合の対応等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		工事用地等に未処理部分がある場合は、その場所、範囲及び処理の見込み時期。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		工事用地等の使用終了後における復旧内容。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		施工者に、消波ブロック、桁製作等の仮設ヤードとして官有地等及び発注者が借り上げた土地を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	公害関係	工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場周辺で発生した過去の公害（家屋への損傷等）について記載。 その上で、重機等による振動対策を記載する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		各法令、条例にもとづく制約条件について記載。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【参考】現場説明における条件明示作成段階チェックリスト

	現場説明における条件明示チェック項目	設計担当/コメント		精査担当/コメント		記載内容への意見等【班長】		
		該当		該当		該当		
		無	有	無	有	無	有	
4	安全対策関係	不発弾が発見された場合の対応について【必須】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	磁気探査	事前に磁気探査を行っている場合は、実施状況、探査範囲、探査完了日、探査実施業務名、磁気異常点の有無及び確認探査の実施について記載すること。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	工事中用道路関係	工事中資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		搬入路の使用及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		仮道路に関する安全施設等が必要である場合は、その内容、期間。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		仮道路の工事終了後の処置（存置又は撤去）。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		仮道路の維持補修が必要である場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	仮設備関係	仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		台風時に費用計上が必要な仮設工の撤去・復旧に係る条件等。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	建設副産物関係	建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【参考】現場説明における条件明示作成段階チェックリスト

		現場説明における条件明示チェック項目	設計担当/コメント		精査担当/コメント		記載内容への意見等【班長】	
			該当		該当		該当	
			無	有	無	有	無	有
9	積算条件	工種区分は、積算基準書に基づき、共通仮設費率及び現場管理費率を算出するために設定した工種区分を記載する。 (例：河川工事、道路改良工事等) (例：空港用地造成工事、空港維持工事等) (例：浚渫工事、海岸工事等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		施工地域区分は、積算基準書に基づき、共通仮設費率及び現場管理費率を補正するために設定した施工地域区分を記載する。(例：市街地(DID補正)(1)、一般交通影響有り(1)等) <u>現場環境改善費の計上(基本的に全ての工事で実施)</u> (例：重要港湾・地方港湾(1)、地方港湾(3)工事場所が一般交通等の影響を受ける場合等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		【港湾】 共通仮設費率で海上輸送に要する補正を行った場合はその旨記載する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	業務委託等	業務価格を工事価格に合算して旨の記載。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	支給品	支給品に係る内容を記載。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	その他	適用基準書の記載 ○沖縄県土木工事標準積算基準書(令和●年度版) ○実施設計単価表(令和●年●月1日版) ○建設機械等損料表(平成●年度版) ○建設機械等損料表(運用版)【沖縄県土木建築部】(平成●年度版)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		古用物件の移設工事について、会社名・工期等を記載する。 <u>【計画段階チェックより追記】</u>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		関係機関への手続きで、受注者決定後に行う作業等を記載する。 <u>【計画段階チェックより追記】</u>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>